

スクールインターンシップ研修 体験レポート

理工学部 機械システム工学科 2年次生
(スクールインターンシップ 研修時)

1.はじめに

私は2019年度スクールインターンシップを科目登録し、8/26~9/13の3週間、京都府立高校で研修生として活動しました。私が考えたこと・感じたことを項目ごとに記します。

2.応募した理由

1回生の頃の私は「教師になろうか、大学の専門的な知識を活かせる職業に就こうか迷うな〜。」「学校の先生には憧れがあるけど、自分に向いてるのか不安だな…」と思いながら教職課程を履修していました。また、私の教育実習は4回生の夏季休暇中ということもあり、その時期まで「生徒とは違う立場での学校」を知らないことも不安でした。

このスクールインターンシップでは、自分の時間割に合わせて長期・短期を選択できる点、研修校の地域をある程度選択できる点、教育実習の前段階として挑戦しやすい点、大学の先生方からのフォローが手厚い点が魅力的でした。そして、迷いに迷いながらスクールインターンシップに応募しました。

3.研修内容

このスクールインターンシップでは、研修先の先生と打ち合わせをしながら研修内容を決めていくことができます。私は、具体的な日程や研修時間、どの教科の授業に入らせて頂くか、授業以外にどのような活動をしたか等相談しながら決めていきました。

私の場合、「教育実習の授業をしないバージョン」のような内容で研修を進めました。朝の朝礼や1日4コマ程度授業拝見、部活動を通して業務を体験しました。また、研修期間中が文化祭期間だったので、2年生の学級に入り一緒に演劇の準備(衣装作りや展示パネルづくり、演劇練習等)に関わりました。研修前日までは、うまく生徒と関われるのか緊張と不安でいっぱいでしたが、研修が始まってからは毎日が濃く、非常に楽しい時間を過ごすことができました。

4.研修を振り返って

この研修を通して、何よりも良かったと感じることは、2回生という早い段階で学校現場を知ることができた点です。研修を経験するまでは「生徒の立場から見た学校・先生」という視点しかありませんでした。しかし、研修校の生徒や先生方と沢山話をし、業務を経験させて頂いたことで、教職のやりがいや楽しさ・自分の長所や短所を発見することができました。特に、先生方からの「なぜ教師になろうと思ったのか。」「どんなことに気を付けながら授業をしたり、生徒と関わっているのか。」「実際の学校現場の課題」などの生の声は、スクールインターンシップに参加しなければ聞くことができなかつたと思います。また、秋学期の講義が始まってからも「あっ、この授業方法は実際に学校現場で使われていた方法だ!」と感じる等、学校現場と照らし合わせ、想像しながら大学の講義を受けることができるようになりました。

5.最後に

スクールインターンシップは、教職に就くと決心している人、まだ迷っている人、誰にとっても有意義で価値のある経験になります。この文章が皆さんの一歩を踏み出すきっかけとなれば幸いです。最後までお読み頂き、ありがとうございました。